

# ふれあいいきいきサロン実施にあたって

## 1. 目的

地域での孤立・閉じこもりの防止やふれあい交流・仲間づくりが主目的です。

## 2. 参加者

支援者やボランティア・民生委員・町内会福祉部等の地域住民や、地域で孤立、閉じこもりがちな高齢者、障害者、子育て中の親や子ども等。原則、近隣住民同士の集まりであり、仲間うちだけの閉鎖的な集まりにならないよう留意しましょう。

## 3. 運営方法

参加者はお客様ではなく、地域に住む仲間と位置づけ、できる限り参加者と協力者が話し合いながら、みんなが楽しめる内容を決めましょう。

## 4. 開催場所

できるだけ参加者が歩いていける日常生活圏の範囲内で、気兼ねなく過ごせる場所。具体的には町内会館や自治会館、いこいの家、個人宅など地域で集まれる場所を探しましょう。

## 5. 運営資金

自主財源での運営が原則です。参加費を徴収するなど、自主財源の確保に努めると共に地域の人的、物的資源の活用を創意工夫しましょう。

## 6. 情報の活用

地域の民生委員、技術や知識を持ち定年を迎えた方、ボランティア、協力してくれる企業や商店、伝統行事、福祉施設、福祉部のある町内会など。地域の人、建物、文化や仕組みなどの情報を活用しましょう。

## 7. プライバシーの保護

活動で知った参加者やボランティア等の個人情報（個人の悩み事や世帯構成、障害の有無、住所や電話番号等の情報）の保護について参加者全員で守る約束をしましょう。